

第 4 1 3 回

香川海区漁業調整委員会議事録

令和 8 年 1 月 2 3 日

5. 議事事項とその結果

第1号議案 「くろまぐろに関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の変更について（諮問）」

諮問された内容で適当である旨答申することに決定した。

第2号議案 「令和7年度連合海区漁業調整委員会について（協議）」

内容について事務局が説明し、了承された。

第3号議案 その他「トラフグ資源について（報告）」

内容について事務局が説明した。

6. 議事のあらまし

委員会の定刻となり、開会した後、北尾会長が議長となり、議事録署名人に松本委員と石原委員を指名して議事を進行した。

〔北尾会長〕

それでは議題に入ります。第1号議案「くろまぐろに関する令和7管理年度における知事管理漁獲可能量の変更」について事務局より説明願います。

〔湯谷主任〕

（資料1に基づいて説明）

〔北尾会長〕

この件につきまして、何かご意見等ございますか。

（意見等なし）

〔北尾会長〕

これは、毎年、県の方から国に増枠について要望しているのですか。

〔湯谷主任〕

今回超過した漁獲量については、2、3か月に1度、定期的に国から、融通に関する要望調査というものがございまして、今の状況を踏まえて要望したところでございます。ただ当初の枠については、混獲管理として、大型魚については2トン、小型魚については1トンが設定され、毎年リセットされるような形ですので、特段、当初枠に対する増枠要望というのは行っておりません。

〔北尾会長〕

事前に小型魚について枠を増やすということはできないということですね。この件につきましてよろしいでしょうか。

（意見等なし）

〔北尾会長〕

それでは、海区委員会として、適当である旨、答申したいと思います。

〔大山室長補佐〕

倉本委員がまだお越しになっていないので、もし差支えなければ第2号議案を後回しにして、第3号議案のその他のトラフグの関係から議論させてもらっても、よろしいでしょうか。

（異議なし）

〔北尾会長〕

それでは、第3号議案その他について、事務局より説明をお願いいたします。

〔湯谷主任〕

(資料その他に基づいて説明)

〔北尾会長〕

この件につきましては、昨年の12月の海区委員会で、北野委員から、ご質問があった件に対する回答ということでございます。北野委員、何かございますか。

〔北野委員〕

調査してくれているということなので、今のところはないですけど、東京湾でもやっぱり産卵していると思うので、その後の移動とかはどうなのですか。

〔北尾会長〕

例えばGPSなどによってどこまで行っているのか、追跡調査ができないのですか。

〔湯谷主任〕

GPSっていうのは、例えば大きなクジラやイルカ、ウミガメでは実証されているようですが、如何せん魚体が小さいので、トラフグには適用できません。ただ、データロガーというのがありまして、その魚が経験した水温の情報を蓄積するようなものは、標識のような形でつけることはできます。経験した水温の変化から、どういった水深を経験していたなど、ある程度移動を追うような情報を得ることができます。

〔北尾会長〕

ただデータロガーの場合は、採捕されないとデータは取れないということですね。将来的にGPSも小型化して適用できればと思います。

〔北尾会長〕

この件につきまして、よろしいでしょうか。

(意見等なし)

〔北尾会長〕

そうしましたら、議題2に戻ります。第2号議案「令和7年度連合海区漁業調整委員会」について事務局より説明願います。

〔小林副主幹〕

(資料2-1、2-2に基づいて説明)

〔北尾会長〕

これについて、何かご意見等ございますか。

(意見等なし)

〔北尾会長〕

皆様、連合海区委員会の出席について、日程調整の方よろしくをお願いいたします。

まず、岡山・香川連合海区委員会でございますが、その他の事項ということで、岡山県西部海域における小型底びき網に係る相互入会について継続協議中ということでございます。この件につきましては、令和3年度に、香川県の中讃海域から岡山県の方に入漁できるようになったということでございますが、香川県の底びき網の業者の方が、積極的に操業されておるということで、岡山県から若干クレームが出ているということです。これについて現在事務局の方で調整をさせていただいて、当日委員会でどこまで話が出てくるかはまだちょっとわかりませんが、よろしくお願ひしたいと思います。

それから愛媛・香川連合海区委員会につきましては、香川県の方からさわら流し網漁業の秋漁について、漁期の後ろ倒しを要望したいということでもあります。

それから広島・香川海区連合委員会につきましては、同じく、さわら流し網秋漁について、漁期を若干前倒ししたいという、香川の要望があるのですが、これについては当日特に意見を出さずに、事務局の方で、引き続き調整をしていただくということで、現在検討しているような状況でございます。これらの件、またその他につきまして、委員さんの方から何かございますか。

〔北野委員〕

連合委員会に出席する委員が変わっていますが、その方は内容について把握されていきますか。倉本委員とか内容について聞いていますか。

〔倉本委員〕

聞いています。

〔北尾会長〕

中讃地区では木下委員（本日欠席）もおられます。

〔藤原室長補佐〕

地元の委員さんを含めて、話を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

〔北尾会長〕

さわら流しさし網の春漁の前倒しの件はどうですか。

〔松本委員〕

その件は、広島県が昨年から10日前倒し（4/20～6/20→4/11～6/11）しているので、入会もそれに合わせて前倒しして欲しいと、水産課を通じてお願いしていました。

（6月11日に）広島県が商売やめているのに、その後、香川県から商売に行くのも、変な話なので、それだったら許可をそろえてくださいと申し込みましたが、広島県からは前年どおりでということなので、今年については了解しましたが、なるべくなら、そろえて欲しいです。広島県が商売をやめているのに、漁場に入って商売するのも何か気が引けます。そろえた方がいいと思います。やっぱり水温も上がっているので、広島県も前倒しになったのだとは思いますが、そういうことで、何か無理なことを言っていることではないと思います。また水産課の方、お願いします。

〔宮奥主任〕

きちんとその趣旨の部分はこの事情があるので検討してくださいと、先方にも申し入れはしていますが、相手のある話ですし、急にはどうかというところはあるんですが、説明は続けていきたいと思えます。

〔北野委員〕

終わりの10日より、前の10日の方がいいことはわかっています。

〔倉本委員〕

常識的にみんなが休んでいるのに、操業するのはどうかなと思います。

〔松本委員〕

今年に限っては、現状のままいって、また1年後に実現できればという話になっているのですよね。昨年度から広島県では前倒しなっています。よろしくお願いします。

〔北尾会長〕

その他、何かありますか。

〔宮地委員〕

小豆島の北部海域ですけれど、岡山県の主張海面と香川県の主張海面が大きく乖離しているのですが、そこへ持ってきて、兵庫県のバッチが（岡山海域に）入漁しているのですけれど、岡山との話は掴んでいるのですか。

〔藤原室長補佐〕

岡山から連絡をもらって、その都度、関係者の方にお話をしています。

〔宮地委員〕

兵庫県のバッチが入ってきている岡山・兵庫の入漁協定の情報は掴んでいるのですか。

〔柏山次長〕

それは岡山県から協定書をもらっていますので、兵庫から岡山に対する入漁というのは、我々も確認をしています。

〔宮地委員〕

その中に香川県は、話には入っていないのですか。

〔柏山次長〕

基本は、岡山と兵庫の間の協定ですから、そこには香川は入っていません。

〔宮地委員〕

誰が見ても、香川県の海でバッチをやっています。香川県に許可があり、地元の漁業者が操業しているのなら納得できますが、香川県はバッチの許可もないから、指をくわえて見ているだけです。岡山県の入漁協定に、あるのか無いのかわかりませんが、はるかに南で操業しています。

〔柏山次長〕

はるかに南でやっているという情報をいただきたいと思います。

〔宮地委員〕

岡山県の主張海面内で操業している分には、こっちは文句が言えません。

〔植田室長〕

それは香川県の主張海面と重なっている部分ですか。

〔宮地委員〕

明らかに重なっています。香川の人から見たらあの沖の灯台ぐらいです。岡山県の赤線から1.5か、香川県の赤線から1.5ぐらいまでのところですよ。

〔柏山次長〕

そこは当然、岡山と兵庫の間の入漁協定に基づく操業ではあるのですけれど、岡山の主張海面を超えれば、当然香川海域での無許可操業として取り締まり対象になりますので、そこでは操業できません。岡山の主張海面については、各県の主張がありますのでなかなか我々として、言いづらいというか言えない部分かなと思います。

〔宮地委員〕

底びき網とかなら、兵庫、香川の両県が操業しているので納得できるのですけれど、バッチの許可もない海に来てるのですから、海（資源）が荒されていないので、魚はいます。

〔柏山次長〕

そこは事務レベルで岡山県、兵庫県とも話をする機会があります。ただなかなかすぐに捕まえるとか、そういうところまでは難しいのですが、前々から懸案だと私は認識し

ています。話をしていかなければいけないとは思っています。なかなか主張海面のところは、お互いの主張があるので、そこはご理解ください。

〔宇山委員〕

これは播磨灘も同じ状況です。坊勢など、兵庫は2番ブイあたりまでできていますが、結局、香川の底びき網漁業者の数が減って、こちらの力が弱っているので、もう何十年も前から兵庫は好き放題しています。

〔柏山次長〕

特に播磨の2号ブイのところは、いつも漁業者からバッチが来ているといった話を聞いています。

〔宇山委員〕

兵庫は沖でも獲っていますし、秋漁でも多く漁獲しています。そういう現状があるので、ちゃんと取締まりをしてほしいと思います。もう播磨灘は兵庫の海になっています。すぐ国を使ったりするし、県も甘いのか知りませんが、すぐに許可を出します。漁業者の数も多いから、力もあると思います。そういうことを認識してほしいと思います。

〔植田室長〕

今年もそんな話があったので、すぐに指導船を回して対応しています。そういった話があったら連絡をください。

〔宇山委員〕

A I Sをつけていますので、大体把握できると思います。

〔嶋野委員〕

今、宮地委員が言った話ですけれど、岡山にバッチ網とかないのではないですか。牛窓などにあるのですか。岡山と香川の入会みたいな形になっているのに、ここでは香川はバッチができないのに、岡山の人が来るのならいざ知らず、兵庫のバッチが入ること自体おかしいと思います。それは県の方から岡山に言ってもらいたいと思います。

〔宇山委員〕

牛窓に3統あります。

〔宮地委員〕

どうも、坊勢が来る日にちは決まっているようです。

〔橋本委員〕

自分たちの海みたいに思っているようです。

〔柏山次長〕

今日いただいたご意見については、岡山連合海区委員会までに話をしたいと思います。

〔嶋野委員〕

もう1点、これは、先ほども説明があったトラフグですけども、これはT A Cの魚種になると思うのですが、ステークホルダー会議を香川でやりましたか。

〔大山室長補佐〕

ステークホルダー会議ですけども、昨年、福岡市で1回開催されました。第2回の会議を年度内にするという話だったんですけども、水産庁の方が先日、年度内にはなかなか開ける状況にはないという話がありました。令和8年度には、また開催されると思いますが、今のところそういった状況です。

〔嶋野委員〕

開催できる状況でないというのは、なんか理由があるのですか。

〔大山室長補佐〕

具体的に国の方からは言われていませんが、先日も、下関や山口の方からトラフグのTACのことについて、全国規模で一律にやって欲しいといった要望が出たり、クロマガドロやスルメイカなどの魚種で、水産庁の方も手が回っていないというのは、感じております。

〔嶋野委員〕

まだ、TACを導入するという具体的な期日は決まっていないのですね。県内の組合長から香川県漁連へ、その件で話をしたいと言ってきています。まだ期日が決まっていなかったら、またステークホルダー会合を要望して、やっぱり漁業者の意見も聞かないといけないと思います。

〔大山室長補佐〕

地元でも、そういった国の動きを説明して欲しいという要望もできますし、国の方も浜回りをすることを言っておりますので、具体的になってきましたら、県から国に、ステークホルダー会合ではないですけども、香川でも意見交換会の開催について要望しますし、昨年、第1回のステークホルダー会合、福岡で開かれましたけど、それには香川県から中讃地区の込網の漁業者が参加しております。

〔嶋野委員〕

香川の方から要望して欲しいと思います。

〔北尾会長〕

開催は要望したら、開いていただけるのですか。

〔大山室長補佐〕

大体、ステークホルダー会合とかの前に、国の方も、各地域でどういうふうな意見があるかっていうのを、事前に聞きたいというスタンスはとっていますので、タイミングをみてまたそういった話はあると思いますし、こちらも話をしていこうと思います。

〔北尾会長〕

聞くだけ聞きましたというふうにならないように、お願いします。

〔大山室長補佐〕

福岡の会々には、本島の小見山組合長さんらが出席されまして、漁業だけでなく遊漁も相当トラフグを釣っている状況や、漁業と一貫性のある管理が必要でないかというようなことを、ご発言頂いております。

〔北尾会長〕

その他、よろしいでしょうか。

(意 見 等 な し)

〔北尾会長〕

特に意見がないということでございます。事務局の方、そしたらその他でお願いいたします。

〔小林副主幹〕

今回の海区委員会なのでですけど3月6日の金曜日の10時からか、10日の火曜日の10時からがどちらかで開催したいと、事務局の方考えていますがご都合はいかがでしょう。

(協 議)

[北尾会長]

それでは次回の海区委員会は、3月10日の10時から開催することにします。
その他、特にございませんか。

(意 見 等 な し)

[北尾会長]

それでは、これで、第413回の海区委員会を閉じたいと思います。

[閉 会 午前10時45分]

上記は第413回香川海区漁業調整委員会の議事の顛末に相違ありません。

議 長 北 尾 登史郎

署名委員 松 本 伊三郎

署名委員 石 原 千代子